

英語の発想、日本語の発想 SDJBA February, 2012 Meeting (2/21/2012)

言葉は単にコミュニケーションの道具ではなく、その裏にある感情やニュアンスにできるだけ近い形で、英語は英語らしく、日本語は日本語らしい表現で伝えるのが良い翻訳。

各言語の背景に文化があり、**言語と文化**は切り離すことができない。文化の違いから来る**発想、考え方、概念の違い**を知ることが大事。

同じことを表現するにも、この文化の違い、発想（概念）の違いによって表現が変わってくる。“らしく表現する”例。

1. 英語は名詞的発想、日本語は動詞的発想

英語を名詞的ではなく、動詞的に表現すると日本語らしくなる。逆に日本語は名詞的に表現すると英語らしくなる。

この写真をよく見てください。

(日本語発想) Look at this picture closely.

(英語発想) Take a close look at this picture.

日本語発想では、Look を動詞的に使うが、英語発想では名詞として使う。同様の表現で、

水を飲んでもよいですか。

(日本語発想) Can I drink some water ?

(英語発想) Can I have a drink of water ?

私達は長時間、話し合った。

(日本語発想) We talked long.

(英語発想) We had a long talk.

彼は泳ぐのがうまい。

(日本語発想) He swims well.

(英語発想) He is a good swimmer.

2. 英語は人間中心、日本語は状況中心

英語では〔動作主〕としての人間が主語になるのに対し、日本語では主語が表現されずに、**状況を中心**に表す場合が多い。

	日本人の発想	欧米人の発想
工事中	Under construction	Men Working / Men at work
政治はおもしろくない	Politics is not interesting.	I am not interested in politics.
まぶしい！	Glaring ! Dazzling ! Too bright!	I have the sun in my eyes.
給料が上がった	My salary went up.	I got a raise.

このように**英語では人間中心**に対し**日本語では状況中心**になることが多い。

3. 否定の内容を肯定文で

英語は意味内容が否定的であっても、肯定の形で表現する事が沢山ある。

否定的な形の日本語を肯定的に表現すると英語らしい表現になるし、

逆に肯定的な英語を否定的に表現することで日本語らしい表現になる場合が多い。

米映画（日本語タイトル）「私は死にたくない」

原題（英語のタイトル）「I want to live」

ここでは「生きたい」と言う英語の肯定的な発想が「死にたくない」と言う否定的な日本語で表現されている。

その他の例：

あんなひどいスピーチは聞いたことがない

（日本語発想） I've never heard such a bad speech.

（英語発想） That was the worst speech I've ever heard.

ミスがないか、もう一度調べなさい。

（日本語発想） Check it over if there are no mistakes.

（英語発想） Check it over for mistakes.

関係者以外立ち入り禁止 /入ってはいけません

(日本語発想) No one allowed except authorized person/members

(英語発想) Authorized person only/ Members only

芝生に立入らぬこと

(日本語発想) Do not walk on the grass./Not allowed on the grass.

(英語発想) Keep off the grass.

以上